

## 四阿山 棧敷山 山行報告

【日程】2月27日(土)～2月28日(日)

【メンバー】CL 細谷 SL 小俣 小原(記)

【山域】菅平高原 四阿山 棧敷山

【行程】

・27日 鳥居峠(7:40)→登山道入口(8:40)→四阿山(13:00)→的岩(15:00)→登山道入口(15:30)  
→鳥居峠(16:20)

・28日 地蔵峠(9:20)→棧敷山(10:25)→地蔵峠(11:35)

\*磐梯山とイエローフォール散策の予定でしたが、天候の関係で四阿山と棧敷山～小棧敷山へと変更となった。

### 27日(晴れ) 四阿山

上田菅平 IC より鳥居峠に向かう途中の道は雪も無く、山肌の雪も少なく春の装い。

鳥居峠からは誰も入っておらず、今日は丸1日コースになるかもしれないとの事。

余裕を持って少し早めに出発。

長い林道を1時間程で登山道入口、まずは的岩を目指す。



そこから広く緩やかな真っ直ぐ続く道があるのだが、**的岩コース⇒(右)**の看板があったので、なんの疑いもなく右側の斜面を這い上がる。

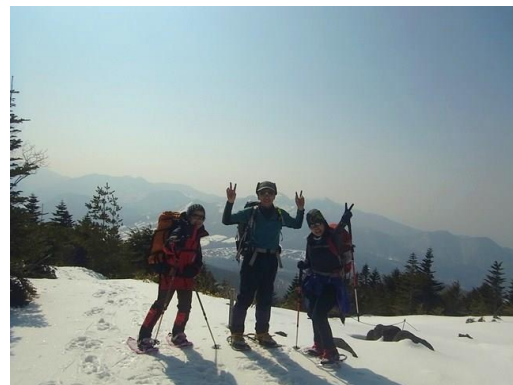
地図上では的岩は斜め左前方向だが、道標があるのだからとその通りに行く。

赤ペンキを塗られた木を追い進むが、突如赤ペンキが無くなってしまった。

とりあえず尾根に向かいヤブの薄い所を選びながら登り上げる。

さて、的岩は、と・・・どうやら違う尾根？

携帯GPSで確認してみると、右方にある上州古道側に出ている様子。



的岩は帰りに寄ることにして、そのまま四阿山頂を目指す。

その後は順調に進むが、道質の変化が激しく足元の履き替えに時間を取られる。

ワカン、アイゼン、履いたり脱いだり、煩わしいけど安全の為に仕方ない。

10回近く？こんなに履き替えしたことないよーと、皆さん同調。

頂上直下の稜線に出たところで今日初めて人と遭遇。反対側からは山頂を目指し途切れなく人がやってくる。

無事山頂に到着し、天気もよく景色を堪能しながらのんびりしたかったが風が吹き荒れる。記念撮影後、そそくさとまた静寂の中へ。



さて、下山は古永井分岐からの岩へ、前方に要塞のような物体、積み上がった岩は自然のものとは思えない規則性。的岩は想像していたより規模も大きく、なかなかの見応え。しかし、ほんの少し下るだけで的岩は全く見えなくなってしまう。下から目視で探し当てる事は難しそうだ。



的岩から登山口までは拍子抜けする程あっという間だった。

登山口入口の看板通り迂回せずショートカットで行けたのね。

雪時期は逆に看板に惑わされる可能性もあるという事で、うーんお勉強になりました。

そして最後は長い林道で、今日はよく歩いた。お疲れ様でした。

下山後、本日の宿泊先、湯の丸学習センターに先に立ち寄り開放される時間を念の為確認すると0時開放との事。

食事とお風呂にゆっくり入り22時に着いた時点で、既にセンターは開放されていた。

0時というのは名目上なのだろう。

センター内は既に寝ている人もいたので、車内でプチ宴会を済ませる。

お布団もあり暖房も全開(乾燥が半端なかったが)ヌクヌク爆睡。

## 28日(晴れ) 棧敷山～小棧敷山

本日の登山口はセンターからすぐ。ゆっくり起床し、9時頃出発。

目の前のスキー場を横目に、今日は山やめてゲレンデスキーにしたいねーと話しつつも、真面目に登山口へ向かう。棧敷山へは、1時間程あつという間、山頂で昨日の四阿山を眺め、昨日のルートを目で辿る。



近くに展望台があるらしく、標識通り進むが見当たらない。また標識に惑わされる？

標識とは違う方向にそれらしき所を発見した。

(眺望は山頂とさほど変わらない)

小棧敷山へは行っても眺望はこちらより悪かろうと、このまま下山を決定。

昨日の良いクールダウンとなった。

下山後は渋沢温泉へ。鉄泉のお湯が良く、だいぶ長湯させてもらった。

お湯にも癒され、ちば山の山行初、大爆睡もできたので、いつも白目むく帰り道も眠くもならず、元気いっぱい、口だけでもう一山登れそうな勢い???でした。